

# 性的マイノリティ に関する人権問題



長い間、社会では、「性」について、非常に固定的に考えられてきました。「人は異性を愛するのが当然だ」、「心と体の性別が違うことなどありえない、性別は男と女しかない」などと一般的にいわれてきました。しかし、自分がどの性別であるかの認識である性自認、どういった性別の人を好きになるかという性的指向、生物学的な身体の性的特徴、服装やしぐさ、言葉遣いなどの性別表現など、性のあり方は様々です。

性の多様性への理解が社会で広がることで、性的マイノリティの人々を取り巻く環境は徐々に変化しています。一方で、日常生活の様々な場面において、偏見の目を向けられたり、生きづらさを感じたりしていると、就職をはじめ自認する性での社会参加が難しいなど、社会での無理解や偏見のため、不利益や差別を受けている状況があります。

また、自らの性のあり方に違和感を持つていても、誰にも相談できずに悩み続けたり、それを友人や家族等の他者に伝えることは大きな困難を伴ったりします。

性的指向や性自認などを理由とする偏見や差別をなくし、すべての人々が尊重され、自分らしく生活できる社会にしていく必要があります。

熊本市では、平成三十一年(二〇一九年)四月から「熊本市パートナーシップ宣誓制度※」を開始するなど性の多様性の理解促進のための取組を進めています。

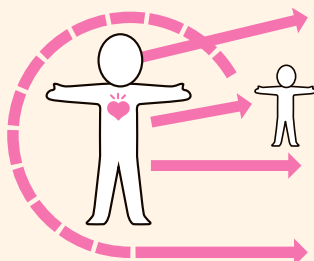
※一方または双方が性的マイノリティであるお二人が、お互いを人生のパートナーとして日常生活において協力し合うことを約束した関係であることを、熊本市長に対し宣誓する制度です。

## 性の多様性

### LGBTとは？

性的指向				性自認・性別表現
L レズビアン	G ゲイ	B バイセクシュアル	T トランスジェンダー	
女性として女性を好きになる人	男性として男性を好きになる人	男性も女性も好きになる人 好きになるのに性別が基準にならない人	出生時に割り当てられた性別とは異なる性を生きている人、生きることを選んでも人	

※トランスジェンダーの対義語は(シスジェンダー)といえます。



**性自認 (Gender Identity)**  
自分がどの性別であるかの認識・アイデンティティ

**性的指向 (Sexual Orientation)**  
どういった性別の人を好きになるか

**身体の性的特徴 (Sex Characteristics)**  
外性器、内性器、性染色体、性ホルモン分泌などに見られる身体の性的特徴

**性別表現 (Gender Expression)**  
行動、しぐさ、言葉遣い、服装など

「LGBT」とは、レズビアン、ゲイ、バイセクシュアル、トランスジェンダーの頭文字をとった言葉で、性的マイノリティの総称として使われることもあります。また、性自認や性的指向などが分からない・明確ではない人(「クエスチョニング」などと言います)なども含むことを明確にするために、LGBTQや、LGBTQ+という言葉が使われることもあります。

